



新ゴリラ日記



vol.35

2020年3月

＊みんなの鼻＊



突然ですが、どれが誰の鼻でしょう??

野生のゴリラの研究者たちは、ゴリラたちの鼻の形や皺の入りで個体識別をするキウです。当園のゴリラたちは、鼻で見分けるまでもなく、全員の大きさなどが全然違うので見分けは簡単ですが、改めて鼻を見てみると、やはりみんな違います。正解は、左から、モモタロウ、ゲンタロウ、キントロウ、ゲンキです♪

父モモタロウは、つるっとしていて皺の少ない鼻。母ゲンキは皺の多めな個性的な鼻をしています。両親の鼻は全然違いますね。そして息子たちはというと…最近体もグングン大きくなり、ますますゲンキにキックリになってきたゲンタロウですが、鼻はどちらかというにつるっとして、鼻の穴の形もモモタロウに似ている気がします。一方、キントロウは皺が多めに入ったゲンキとよく似た鼻をしています。ちゃんと鼻もそれぞれ両親の特徴を受け継いでいますね(*^-^*) ゴリラたちの存在感のある鼻はフニフニしていて触り心地も独特。特にモモタロウやゲンタロウのつるっとした鼻は、表面のつるつる感と絶妙な柔らかい触り心地が担当者はお気に入りです♡もちろん、ゲンキやキントロウのクシャッとした鼻も味があって好きです(^.^)

みなさんも是非一度ゴリラたちの鼻にも注目してみてくださいね!

✿ 8ヵ月かかりました (笑) ✿

昨年6月にあった国際エンリッチメント会議のワークショップで、参加者の方々に作って頂いたエンリッチメント道具。なかなか使ってもらえなかったのですが、秋ごろに設置する位置を少し低くして、乗りやすいようにしてみました。その後もいまいちの反応でしたが、2月に暖かい日がある日があったとき、ゲンタロウが写真の緑のフネに乗っている姿が見られました(^_^)キレまで、中にリングなどの餌を入れていても周りから手が届く範囲で取るだけで、決して乗ろうとはしなかったのですが、急に当たり前のように乗って、自分で揺らして遊んでいました。初めて設置してから約8ヵ月。今頃?!とも思いましたが、やっと期待通りの使い方をしてくれて良かったです!なかなか使ってもらえなくても、諦めずに改良したり置き続けたりすることがゴリラたちにとっては大事なようです。これからたくさん使ってもらえますように☆



↑「僕、前から使ってますけど…」という感じで使っていました(^^;)

～今回の一枚～

「もうすぐ春」

少しずつ小春日和の日も増えてきた最近。そんな日ののんびりしたゲンキとキンタロウ。ちゃんと二人ともカメラ視線をくれました(*^^)v
今年の春は、ずっとゲンキに抱っこされていた去年とは違い、とってもアクティブなキンタロウが見られキウです♪

